

甲州街道往来図

(大月市域)

甲州街道で起こった出来事

天保騒動 (一八三六年)

飢饉に困った郡内地域の農民が、米を求めて甲州街道を通して甲府盆地に押し寄せました。その首謀者である犬目の兵助^②と下和田の武七^④の墓が甲州街道沿いに残っています。

広重の甲州道中記 その④

○笹子峠越え

黒野田を立てささこ峠にかかる。半分頃のほりに休む。〈中略〉矢立の杉左にあり。樹木生茂り、谷川の音、諸鳥の声、いと面白く、うかうかと峠を越えて、休。下川にかかる。『山梨県立博物館調査研究報告3』より



旧笹子トンネル

【⑦旧笹子トンネル】
昭和十三年に完成した。国登録文化財



笹子峠明治天皇御立所

【⑦明治天皇御立所の碑】
明治天皇が山梨県を巡幸されたときの、休憩所を記念した碑。ここには茶屋があった。

【⑧新笹子トンネル】
昭和三十三年に完成した。



親鸞聖人済度碑

【③稲村神社】
境内に馬頭観音碑や合体道祖神が祀られる。近くの「葦池の碑」は親鸞聖人が暴れる毒蛇を済度した碑。



白野宿町並み

【⑥白野宿】
旅館「よろず屋」跡は、昔の面影を良く伝える。



天神峠入り口

【⑥天神峠(天神坂林)】
天保騒動で一揆衆が集合した場所。今は中央道で失われた。

【⑨御舟石所在地碑と御舟石由来碑】
笹子川にあった御舟石を伝える。今は所在碑と由来碑のみ。



中初狩本陣跡

【⑨中初狩宿・下初狩宿】
中初狩宿では本陣と門が再現され、明治天皇御小休所の碑がある。

【⑪芭蕉句碑】
初狩小学校の入り口に立つ。谷村に滞在した松尾芭蕉は郡内各地で句を詠んでいる。



初狩芭蕉句碑

【⑫聖護院道興の歌碑】
中世の僧侶、聖護院道興が初狩を通った際に詠んだ歌。諸国を行脚して、その様子を『過国雜記』に残している。



聖護院道興の歌碑

【④阿弥陀海道宿】
道路の改良で、今は面影が残っていない。

【⑥黒野田一里塚跡】
普明院の門前に標柱がある。

【⑦笹子追分人形芝居】
江戸時代中頃に淡路人形芝居が伝えられ、地域の人々によって受け継がれてきた。県指定無形民俗文化財

大月市



黒野田宿本陣

【⑥黒野田宿】
本陣の門と明治天皇御行在所の碑が残る。

【⑫鬼の立石】
線路南脇に立つ。山姥伝説に登場する。



鬼の立石

【⑩矢立の杉】
樹高二十八mで、幹は空洞となっている。かつて戦に向かう武士が矢を射立てて先勝を祈願したと伝えられている。



矢立の杉



旧笹子峠

【⑫笹子峠】
甲州街道最大の難所で、『甲斐国志』に「上下二里半、山甚だ峻たり」と記される。

※ウォーキングをする際は、マナーを守って見学して下さい。